

HANDS

Kokura Memorial Hospital

93

2023



いつもの暮らしに、いつものあなた

小倉記念病院

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野3丁目2番1号 TEL.093-511-2000(代表) [小倉記念病院](#) [検索](#)

TEL.093-511-2062(医療連携課) FAX.0120-020-027(医療連携課) FAX.093-511-2032(救急室) 夜間・休日における救急患者の情報のみ

【表紙】

2023年4月に20年ぶりに小倉記念病院に戻ってきた呼吸器内科川波医師と、呼吸器外科大崎医師。内科と外科それぞれの分野で共に呼吸器疾患に立ち向かっています。



・高校時代サッカー部(中央列・左から3番目)



・高校時代修学旅行



・大学時代



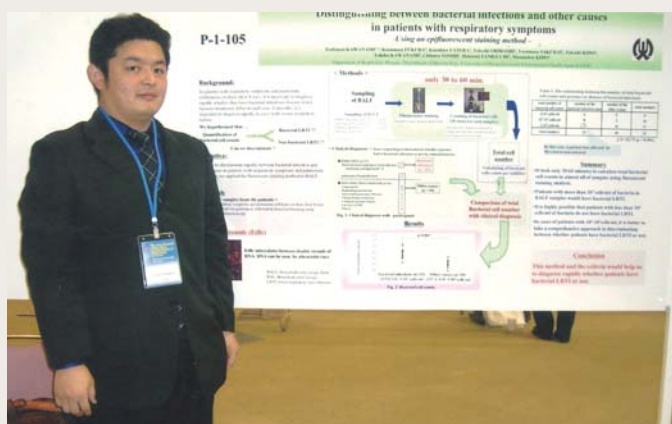
・大学時代サッカー部



・産業医科大学5年目医局先輩と



・2003年小倉記念病院勤務研修医時代



・2006年京都学会にて

2023年4月に呼吸器内科主任部長に就任しました。飯塚市の小学校から新設私立校の佐賀の弘学館中学校に1期生として入学し、野山を駆け回る中学時代でしたね。高校・大学はサッカー漬けで、入学した産業医科大学では、大切な先輩や仲間とボールを追いかける毎日でした。医学部生時代、シャカステンにフィルムをかざす仕草に憧れを抱き、呼吸器内科の道へ進むことになったのですが、現在は電子カルテになりシャカステンを見ることもなくなってしまい非常に残念です(笑)。20年ぶりに小倉記念病院にお世話になります。これからも北九州の地域医療に恩返しができるよう精進してまいります。



呼吸器内科 主任部長

川波 敏 則

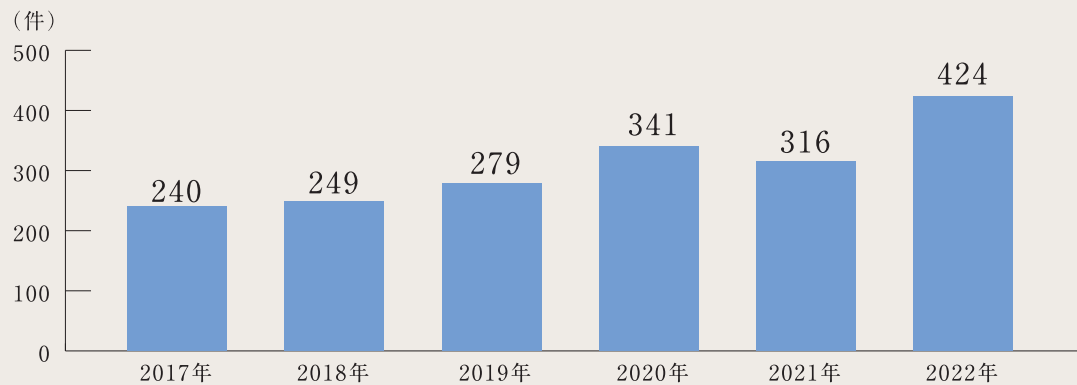
Toshinori Kawanami

2023.
4
着任

外来化学療法

呼吸器内科における外来化学療法の件数の推移です。2017年度の240件から、2022年度424件と増加傾向にあります。これは、新しい治療薬の採用により治療成績が向上しているとともに、周術期における効果的な化学療法の実施により、入院することなく仕事をしながら外来で通院する患者さんが増加していることが要因として挙げられます。当院ではがん化学療法に関する専門知識を習得した化学療法看護認定看護師を配置しており、安全で苦痛の少ない治療を受けられる体制を整えています。

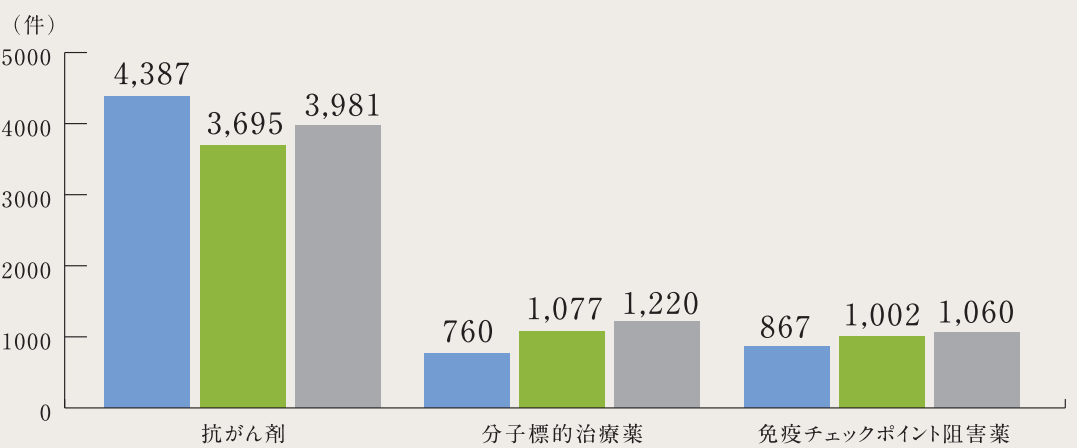
外来化学療法実施件数



薬物療法

病院全体における過去3年間の薬物療法の実施件数の推移です。分子標的治療薬、免疫チェックポイント阻害薬に関しては病院全体では増加傾向で、呼吸器疾患をはじめ外科や消化器内科、泌尿器科などでも使用しています。分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害剤は、従来の化学療法や放射線療法と比べ副作用が少なく、効果的な治療を可能にすることが期待されています。しかしこれら複数の薬剤を組み合わせた治療には、副作用や有害事象が増加する可能性があります。そのため、患者の状態により適切な薬剤の選定と投与スケジュールの決定が重要となり、慎重な管理が必要とされるため、担当医師と相談の上使用の可否判断を行う必要があります。

薬物療法実施件数 ■2020年度 ■2021年度 ■2022年度



呼吸器内科

Respiratory medicine

呼吸器内科では呼吸器感染症（肺炎、肺膿瘍、結核症、肺非結核性抗酸菌症、肺真菌症、膿胸など）、肺悪性腫瘍、間質性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、など多岐にわたる疾患を診療しています。特に現在当院の肺癌治療で行っている薬物療法は3つあり、殺細胞性抗癌剤、分子標的薬剤、免疫チェックポイント阻害剤です。周術期における治療戦略については呼吸器外科と呼吸器内科の専門医が患者の状態に応じて綿密な連携をとることで患者に最適な治療法を提供し、治療効果を最大限発揮させる体制を整えています。



呼吸器内科 部長

生 越 貴 明

Takaaki Ogoshi

- ・日本内科学会 認定医
- ・日本呼吸学会 専門医
- ・日本結核病学会 認定医
- ・日本がん治療認定医機構 認定医
- ・産業医学ディプロマ



呼吸器内科 主任部長

川 波 敏 則

Toshinori Kawanami

- ・日本呼吸器内視鏡学会 指導医 専門医
- ・日本感染症学会 指導医 専門医
- ・がん治療認定機構 認定医
- ・日本結核病学会 指導医
- ・日本化学療法学会 指導医
- ・日本内科学会 専門医 認定医
- ・JMECCインストラクター
- ・日本呼吸学会 指導医 専門医

呼吸器領域を それぞれの分野から 支えるスペシャリスト

小倉記念病院は研修医時代よりとお聞きしました。お帰りなさい！

川波 20年ぶりに戻ってきました。当時お世話になった先生やスタッフの方、懐かしい顔ぶれがいっぱいあって、ご挨拶が出来て嬉しかったです。

大崎 先生が主任部長に就任された2021年より呼吸器外科領域で代表的な肺がんのダビンチ手術が始まりました。怒涛の2年を振り返っていかがでしたか？

大崎 2021年1月に就任して、その年の8月からダビンチ手術が開始されました。準備では岡先生と手術見学に行ったり東京のトレーニングセンターで研修をしたりと半年間準備を進め、今に至ります。当初は比較的操作が容易な手術を選んで月に1例程度でしたが、最近では週に1例程度行っています。今までで60例ほどになりますが、全例合併症なくダビンチ手術を行うことができています。

川波 術前に患者さんとお話する際にも、「この病院はダビンチ手術ができますか？」と聞かれる患者さんも多くて、関心の高さがかえりますよね。

大崎 ロボット手術だから簡単じゃないかと思われることも多いんですけど決してそんなことはなくて（笑）。今までの準備や経験がとっても大事なんですよ。2年やってようやくこころまでやってくれた、という感じですよ。

2023年9月にダビンチ2台目が導入されると益々ダビンチ手術も増えていくと思いますが、今後どのように呼吸器内科・外科で連携していきたいですか？

大崎 肺がん治療は今大きな分岐点にあると考えていて、特に分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬が組み込まれてきて治療成績が結構良い。以前の手術後の補助治療はいわゆる抗がん剤を用いるのみで、またその治療効果も十分ではありませんでした。その点、今の薬物治療に関しては呼吸器内科の先生の方が僕たちより得意なので、そこはぜひ連携して共同カンファレンスなどで治療方針を決定していけたらと思っています。

今年4月に主任部長に着任されて数ヶ月経過しましたが、川波先生が目指す小倉記念病院の呼吸器内科はどのようなものですか？

川波 まだまだ肺がんは増え続けています。

こま北九州の医療圏で、呼吸器外科の先生方のご支援のもと患者さんに信頼される呼吸器内科にしていきたいと思っています。また間質性肺炎についても他の科も困るシビアな病気なので、積極的な対応が出来ればと思っています。

大崎 外科の立場からだと、間質性肺炎の合併は大変怖いんですよ。肺がん手術自体で亡くなることはほとんどなくて、亡くなる原因は間質性肺炎の合併症のケースが多い。だから怪しいと思った段階ですぐに呼吸器内科の先生方に連絡をするようにしています。

川波 いつでもご連絡ください。そして実は：僕、学生時代に大崎先生の授業を大学で聞いてたんですよ（笑）

大崎 えー！僕の授業聞いてたの？呼吸器内科はゴナの最前線だから、落ち着いたらぜひ飲みにいきましょう。

川波 よろしく願います！

呼吸器外科 主任部長

大崎 敏弘

呼吸器内科 主任部長

川波 敏則

呼吸器外科の連携による肺がん治療

ロボット支援下手術による更なる低侵襲手術

呼吸器外科では原発性肺癌をはじめ、転移性肺腫瘍、良性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、気胸嚢胞性肺疾患などの胸部疾患における外科治療を行うとともに、肺癌などの悪性腫瘍においては手術のみならず、抗癌剤治療や分子標的治療、免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤）、放射線治療を含めた集学的治療を行っています。さらに手術は胸腔鏡手術をはじめ、2021年8月よりロボット支援下手術が開始され、低侵襲手術がより進化しました。現在保険収載されている肺癌（原発性・転移性）に対する肺葉切除術、区域切除術、縦隔腫瘍、胸腺腫瘍でロボット支援下手術を行っています。胸腔鏡手術よりもさらに術後の早期回復、早期退院が可能となっており、より安全で確実な治療を提供できるよう取り組んでいます。



呼吸器外科 主任部長
大崎 敏弘

・日本外科学会 専門医 指導医 ・日本呼吸器外科学会 指導医 評議員 ・日本胸部外科学会 指導医 ・日本呼吸器内視鏡学会 専門医 指導医
・呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医 ・日本気管食道学会 専門医 ・日本呼吸器学会 ・日本臨床外科学会 ・日本内視鏡外科学会 ・日本肺癌学会
・日本癌学会 ・日本癌治療学会 ・日本乳癌学会 ・産業医学ディプロマ ・医学博士

放射線科との連携によるIVR治療

喀血に対する気管支動脈塞栓（BAE）

血痰・喀血をきたす呼吸器疾患には肺結核、非結核性抗酸菌症、肺アスペルギルス症といった呼吸器感染症、気管支拡張症、肺癌などがあります。脳血管疾患や心臓疾患で血液サラサラの薬を服用されている方にも喀血がおこることがあります。BAEは局所麻酔下に鼠径部の動脈より細いカテーテルを挿入し、喀血の原因となっている気管支動脈をゼラチンスポンジや金属でできたコイルといった塞栓物質で詰める手技で、体への負担が少なく、傷も小さいのが特徴です。当院のハイブリッド手術室には最新の血管造影装置を備えており、胸部のIVRとしてはBAEの他、肺動静脈瘻の治療も積極的に行っています。また全身様々な部位での動脈性出血や内臓動脈瘤、血管奇形に対する塞栓術など幅広いIVR手技に対応しています。



放射線科 主任部長
上田 浩之

・日本医学放射線学会 専門医 研修指導医 ・日本インターベンショナルラジオロジー学会 専門医 指導医
・日本腹部放射線学会 ・日本腹部救急医学会 ・日本血管内治療学会 ・日本小児放射線学会 ・医学博士

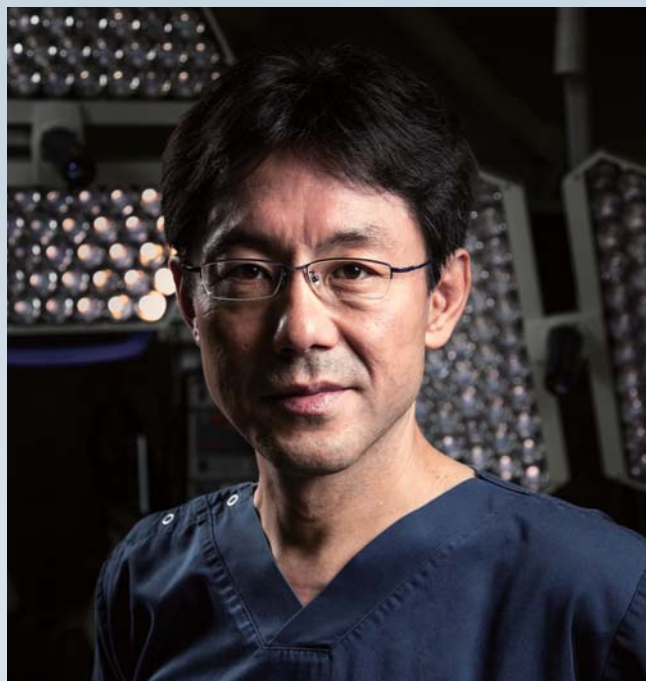


[心臓血管外科]

心臓血管外科 主任部長

大野 暢久 NOBUHISA OHNO

僧帽弁閉鎖不全症

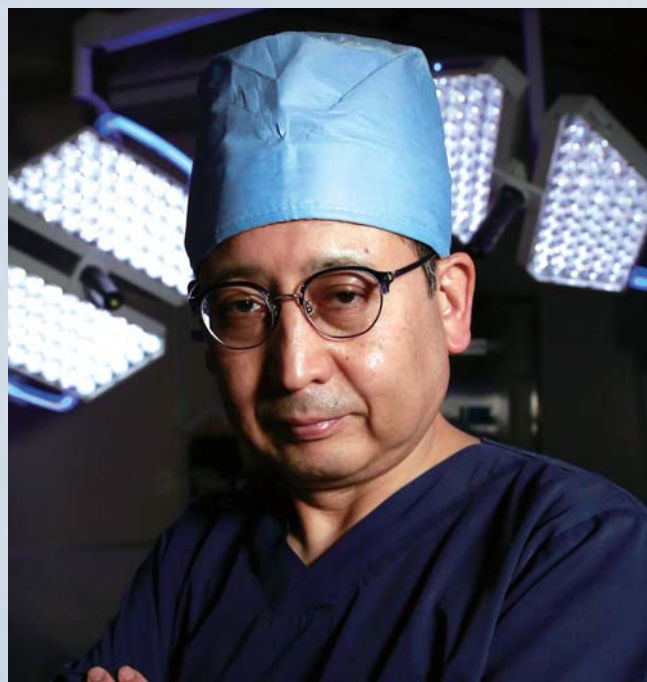


[外科]

外科 主任部長

藤川 貴久 TAKAHISA FUJIKAWA

胃癌、直腸癌、結腸癌、肝臓癌、ヘルニア

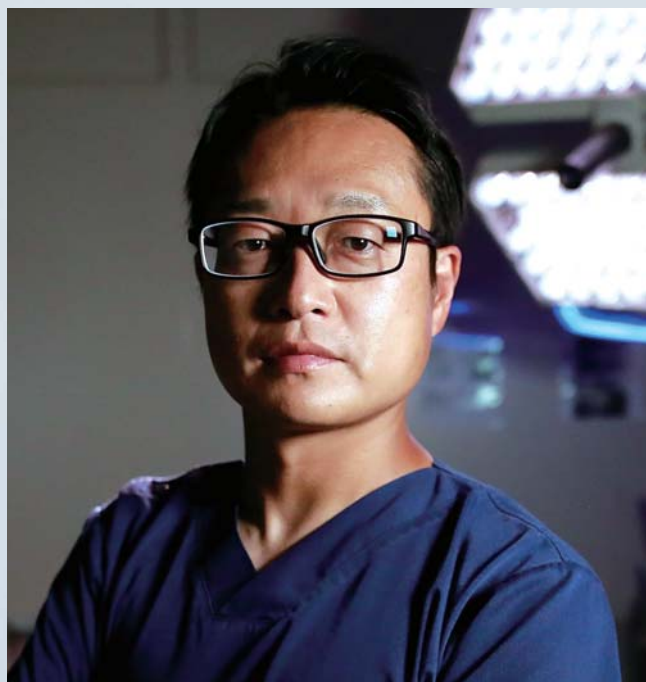


[泌尿器科]

泌尿器科 部長

坂野 滋 SHIGERU SAKANO

前立腺癌、腎臓癌



[呼吸器外科]

呼吸器外科 部長

岡 壮一 SOICHI OKA

肺癌、縦隔腫瘍、胸腺腫瘍

ロボット手術

「Da Vinci」

2023年9月 ロボットセンター開設

2023年9月、北九州では初の2台目のダビンチ導入が決まり、これに伴いロボットセンターを開設する運びとなりました。現在外科では胃癌・直腸癌・結腸癌・肝臓癌・ヘルニア領域、泌尿器科では前立腺癌・腎臓癌、心臓血管外科では僧帽弁閉鎖不全症、そして呼吸器外科では肺癌（原発性・転移性）に対する肺葉切除術、区域切除術と縦隔腫瘍（悪性・良性）、胸腺腫瘍においてロボット支援下手術を提供しています。今後は2台のダビンチを駆使することにより手術室の利用効率が向上し、緊急手術への迅速な対応や手術スケジュールの柔軟な調整が可能となります。

